

京都市の農林業地域

京都市では、農林業を地域特性等から、市街化地域、都市近郊農林業地域、北山林業地域、農業振興地域、農業保全地域に分類しています。

京北農林業地域



北部農林業地域

左京区花脊峠以北の5集落と右京区嵯峨越畠、檜原地域からなり、そのほとんどが森林で、豊かな自然と伝統文化が数多く残っています。いずれの集落も高齢化が進んでおり、木材需要の低迷も相まって、総じて地域活力が低下傾向にあります。久多、越畠、檜原地域では土地基盤や各種施設等が整備されるとともに、花脊峠以北では山村都市交流の森を中心に都市住民との交流活動など、また越畠地区では、観光農村による地域の活性化を目指した取組が進められています。



北山林業地域

市の西北部に位置し、右京区、北区、左京区の一部からなり、床柱材である「北山丸太」を中心とした高い生産技術を有し、林業に対する依存度の高い地域です。しかし、近年の建築様式の多様化などにより、丸太需要の低迷傾向は顕著で、地域社会の活力の低下も懸念されています。このため、北山丸太のブランドイメージを生かした新たな商品開発、森林景観対策や高度な技術を持つ林業労働者の育成などが必要となっています。

